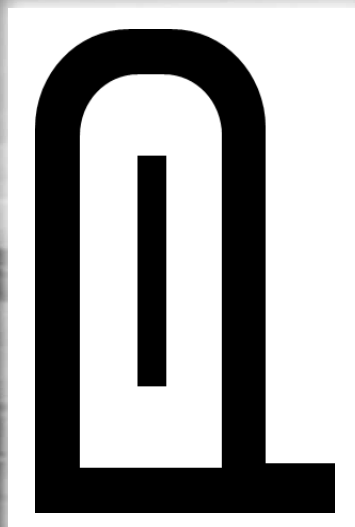


過去の災害で学ぶ 「自然災害伝承碑」

『自然災害伝承碑』 地図記号



自然災害の被災地の中には、
昔の被害を今に伝える石碑がある。
それは、後世に二度と同じ思いをさせまいと
残した、先人たちのメッセージ。



自然災害伝承碑紹介サイト

※自然災害伝承碑とは、過去に起きた自然災害の規模や被害の情報を伝える石碑やモニュメントです。
※地図への掲載は、市町村からの申請が必要です。情報をお寄せください。

自然災害伝承碑

出典:大阪府警察



地形等により受けやすい災害がある
災害は同様の場所で再び発生



地理院地図
表示アイコン



地理院地図（自然災害伝承碑を表示）



地図記号

※以前は、概念的に記念碑 [〇]（ある出来事や人の功績
などを記念して建てられた碑やモニュメント）に含まれていました。



自然災害伝承碑の分布と 代表事例

能登半島地震復興感謝之碑 地震（輪島市）

能登半島地震
復興感謝之碑

概要	
碑名	能登半島地震 復興感謝之碑
災害名	平成19年(2007年)能登半島地震 (2007年03月25日)
災害種別	地震
建立年	2011
所在地	石川県輪島市門前町門前 塩端交流広場
伝承内容	2007年3月25日午前9時41分、能登半島地震（マグニチュード6.9）が発生した。輪島市は震度6強の揺れに見舞われ11名が亡くなり1万件以上の家屋被害が発生した。震災が残してくれた やさしさ 思いやり 絆 仲間 私たちは忘れない

ID:17204-001



全国の公開数（令和8年9月24日現在）

47都道府県 686市区町村 2,481基

●・・・県内の碑

●・・・県外の碑

石川県内の公開数

5市2町 22基

輪島市 3基、加賀市 2基、
羽咋市 2基、白山市 3基、
能美市 9基、川北町 1基、
津幡町 2基

災害復興記念碑 洪水（津幡町）

災害復興記念碑

概要	
碑名	災害復興記念碑
災害名	昭和39年7月 山陰北陸豪雨 (1964年7月)
災害種別	洪水
建立年	1969
所在地	石川県河北郡津幡町字加賀川
伝承内容	昭和39年(1964)7月の集中豪雨により津幡川が氾濫し、3人が死亡、計2,500戸以上が浸水するなど、甚大な被害が発生した。復旧工事や津幡川の抜本的改良工事が昭和44年(1969)に完工し、災害復興を記念するためにこの碑を建立した。
制限事項	

ID:17361-002



水害記念碑(転禍為福) 洪水（能美市）

水害記念碑(転禍為福)

概要	
碑名	水害記念碑(転禍為福)
災害名	昭和9年手取川大洪水 (1934年7月11～12日)
災害種別	洪水
建立年	1993
所在地	石川県能美市新保町(八幡神社)
伝承内容	昭和9年(1934)の手取川大洪水では、7月11日高島堤、12日神ノ木堤が決壊し、新保地区は孤立。金戸大水・耕地流失の被害を受けた。住民は流されてきた岩に「禍を転じて福と為す」と刻み、その後、先人の遺業を伝えるためこの碑を再建した。
制限事項	第三者が二次利用する場合、能美市(0761-58-2201)への利用申請が必要

ID:17211-004



写真提供：能美ふるさとミュージアム

